

1.診療科紹介（専攻医・後期研修医向け）

項目	内容
① 診療科名	腎臓内科
② 診療科の特徴	CKD 管理 シヤント手術 透析導入 急性腎障害管理 維持透析患者合併症入院の際の維持透析
③ 診療科のモットー	お互い助け合える、働き甲斐のある職場がいいですね
④ 診療内容・実績 (直近1年間)	透析導入 44 件、血漿交換 8 件、急性腎障害緊急透析 24 件、腎生検 22 件、内 シヤント手術 89 件、シヤント血栓除去術 3 件
⑤ 診療体制 (2019年7月時点)	常勤スタッフ 3 名 + 後期研修医 3 名～4 名 (腎臓指導医+透析専門医 1 名 腎 臓専門医+透析専門医 1 名含む)
⑥ 診療科カンファレンス	病棟患者カンファ 1 回/w 透析患者カンファ 1 回/w 腎病理カンファ適宜 腎臓膠原病合同カンファ 1 回/w
⑦ 経験できる疾患	慢性腎障害、ネフローゼ症候群、慢性糸球体腎炎、急速進行性糸球体腎炎、急 性腎障害
⑧ 経験できる技術・技能	内シヤント手術 シヤント PTA 腎生検 透析管理
⑨ 学会について	日本腎臓学会 日本透析医学会
⑩ その他	透析ベッド 6 床で月水金で最大 12 名同時透析。腹膜透析や移植は連携施設に 紹介していますが、腹膜透析患者の外来フォローを可能な範囲で検討中。

2.専門研修プログラムに準拠しない形での採用の場合

項目	内容
① 取得可能な専門医	腎臓専門医 透析専門医
② その他	

3.指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

当院腎臓内科では、将来腎臓内科を志望する、やる気と責任感のある専攻医、後期研修医を絶賛募集中です。腎臓内科の業務内容は、男女問わず業務の面白さや働きやすさを感じる事ができ、将来的なワークライフバランスの柔軟性などから、近年志望者が増加しております。

腎臓内科に興味を持っている専攻医、後期研修医の方、まずは私たちと一緒に働いてみませんか？比較的穏やかな人種の上級医が、未来ある先生方の成長をサポートします。



名古屋医療センター 腎臓内科 後期研修医募集！

~~~~ 腎臓内科を選んだけれど後期研修を迷っている、  
まだ専門科が決まらず腎臓内科も考えている、あなたへ ~~~~

ご存じのとおり腎臓疾患は、腎限局のものは少なく、全身性・二次性のものが大半を占めます。

見学に来てくれる学生さんにもお話しますが、当院腎臓内科の特徴は、腎臓内科にあらず…??

循環器、呼吸器、消化器などメジャー科患者さんの腎疾患はもちろんですが、当院は、

**血液内科、膠原病内科、整形外科（関節リウマチ）、感染症科（HIV）など  
東海地区を牽引する診療科が多数あり、腎合併症の症例が本当に豊富です。**

また三次救急指定病院ならではの重症患者さんに対する急性血液浄化件数も多く、

集中治療科の先生と協力しながら診療にあたります。

つまり少々自虐的ですが…当院では腹膜透析、腎移植について診療機会がない代わりに

（帰局前関連病院赴任や大学帰局後で学べますよ）、腎診療の大切な基本を固め、野球で例えるなら

**変化球を操る前に、ストレートを外角低めにしっかり投げ込むこと  
を目標としています。**

腎臓内科にFix予定であるけれども、他科ローテーションをしたい 或いは  
内科ローテーション研修のひとつとして腎臓内科を研修したい。

もちろん OKです！ どちらかといえば、すぐにFixせずに、関連の深い、  
循環器科や膠原病内科等をローテーションすることを、むしろお勧めします。

**各科の垣根が異様に低く、研修の自由度が高いのも当院の特徴です。**

また、国立病院グループの強みを生かした、治験や臨床研究にも参加しており、

新規薬剤や治療法について最新の知見を感じることができる

まさに “ミニ” いや、“フットワークのよい” 大学病院といえるでしょう。

まずは、お問い合わせお待ちしております！



透析学会  
札幌にて